

茅刈りプロジェクトは11月11日(土)、三村交流会in菅沼は12月3日(日)、開催決定です！！

守る会ホームページ！！ <http://shirakawa-go.com/~ogimachi>

ね

そ

白川郷荻町集落の自然環境を守る会

発行 平成29年7月号

自治保存会育成事業視察研修in尾道 & 鞆の浦！！

7月4～5日、合掌保存財団が主催するみだしの研修会に参加しました。今回の目的は『空き家再生』。近い将来荻町でも深刻な問題となるであろう空き家問題について、先進地である尾道での空き家再生プロジェクトの取り組みを視察。翌日は、鞆の浦の歴史的景観を視察しました。今回は17名が参加。帰郷が夜10時を過ぎるバスの中で、参加者全員より感想ご意見をお寄せ頂きました。紙面の都合上ほんの一部となりますが、以下にまとめ研修報告とさせていただきます。【文責:和田】

◎尾道

- ・尾道は生活車両が入れない、下水がない、坂道での生活等其他地区には無いインフラ上の問題を抱えている。しかし、そういった要因を乗り越えるだけの景観的な魅力を持つ。
- ・「尾道らしさ」とは傾斜地に立つ独特の建築群、細い路地の風景にある。その「尾道らしさ」そのものが現代生活における「不便さ」の要因となっており、地域の魅力と生活の利便性が相反関係にあることがわかる。
- ・それゆえ移住者にはそういった不便さを理解した上で居住を勧める必要があり、空家再生プロジェクトではこの地域の不便さを「尾道暮らし方手引書」によりわかりやすく移住希望者に説明していた。
- ・再生プロジェクトの目指すところは、尾道では建物を取り壊すとそこに建物を建て直すことが困難なため、既存の建物を残していくところにある。既存の建物を残すことが尾道らしい小さな路地を残すことになり、移住者を積極的に受け入れ活用することでその解消を目指している。
- ・『あなごのねどこ』は、女性9名、男女兼用8名のキャパのゲストハウス。一泊2500円、貸切2850円。改修の様々な箇所に遊び心があり、狭い空間ながらも位心地のよさとワクワク感が随所にあふれていた。
- ・高台の『みはらし亭』は、登録有形文化財の大正期の別荘建築。文化財的な価値を重視した改修や耐震補強工事を実施しゲストハウスとして活用している。小物等古いものを活かし飾り再生したレトロ感がいい。
- ・尾道の魅力は、滞在して町の中をゆっくりと散策することで感じられる。ゲストハウスではそういった尾道らしさを訪れた人々により深く感じさせる工夫がなされていた。こういった視点は「白川らしさ」を来訪者にどううまく伝えていくかを考える時に、とても大事なことだと感じた
- ・印象に残ったのは、活動姿勢。尾道の景観を守るために空き家を残したいという思いはもちろん、魅力的な建物だから残したい、自分が住む地域がこうありたいという想いが原動力になっている。
- ・原動力のひとつに「楽しい」気持ちが常にあることも伝わ



【あなごのねどこにてお話を】



【尾道は坂道が似合う】



【みはらし亭をバックに記念写真】

ってきた。空き家再生の過程が楽しい。空き家再生による町の変化が楽しい。大変な作業もみんなでやると楽しい。そこには町並みを守るための義務感を感じなかった。再生プロジェクトがうまく続いている秘訣は、想いを持って楽しくやること。それを肌で感じる事ができた。

- ・地域外の方々や若い人たちが、積極的に関わっている。
- ・荻町と尾道の保存の考え方の違い。荻町は「売らない・貸さない・壊さない」の三原則で守ってきた。尾道は保存のためには売ることも貸すこともOKであり、外部人材を受け入れ協同で進めている。荻町では三原則の精神を継承しつつ、如何に外部支援者を取り入れていくかが課題である。

◎ 鞆の浦

- ・古くから港町として栄える歴史ある町並み。同時に坂本龍馬等幕末期の舞台であり、最近ではアニメ崖の上のポニョのモデルとなった地。また、鞆湾の架橋埋め立て計画阻止にむけて、住民が景観を守る戦いを続けてきた歴史ももつ。
- ・お話し上手なガイドさんの説明に、散策の楽しさが倍増。観光地のレベルアップには、ガイドさんの充実が欠かせない。
- ・出会う住民と言葉や挨拶を交わしながらガイドをされる姿に、地元愛にあふれたガイドさんであることを実感。
- ・子ども観光ガイドの存在等、白川も次代を担う子どもたちに故郷を誇り大好きになってもらう取り組みが大事。
- ・素晴らしい景観も、歴史的な町並みも、文化や生業、食べ物も、それを育みつなげていくのは人であると痛感。

◎ その他

- ・景観と人があつての観光。どちらも、ここにしかないオリジナルだからこそ価値があると感じた。
- ・改めて自分たちが住んでいる白川郷を愛おしく想った。誇りに想い村の一員として頑張ろう。
- ・貴重な視察体験に感謝。学んだ多くのことを住民に広めたい。

[以上、参加者感想より抜粋]



[坂道に建つ登録有形文化財みはらし亭]



[鞆の浦をガイドさんと共に散策]

守る会活動スローガン ～ 守る・くらす・つなぐ ～

- ① 守る：住民憲章を基盤とした、世界遺産である合掌家屋と農山村の景観保全
- ② くらす：結の精神が根ざした共同体と、景観に調和した豊かな住民生活の向上
- ③ つなぐ：故郷から学び、国内外の交流から学び、未来への継承者を育成

＝ 6月の活動報告 ＝

- 6月 1日 三村交流打合せ会（三集落各役員）
- 6月 2日 荻町交通対策委員会
- 6月 8日 白川郷学園6年ふるさと学習打合せ会（会長、副会長）
- 6月 9日 5月定例会・役員会
- 6月 11日 ねそ6月号配付
- 6月 15日 世界遺産合掌保存財団評議員会（会長）
- 6月 16日 白川郷自然共生フォーラム理事会（会長）
- 6月 17日 西村幸夫町並み塾 in 南富山（富山市 会長）
- 6月 19日 日本ナショナルトラスト会長白川郷訪問

◎ 区民の皆様へ・・・建物や土地などの現状を変更する場合は、許可が必要です。必ず現状変更申請を行ってください。申請書は守る会定例会の2週間前までに、各組委員に内容を説明の上、委員又は教育委員会に提出を。これは、遺産の保全と未来への継承のためとても重要なことです。皆様のご理解ご協力をお願い致します。

※ 8月の定例会は8日(火)、公民館にて開催を予定しています。

☆ 7月の協議事項（現状変更申請に関わって） ☆

- | | |
|--------------------------|---------------|
| ***** 屋根融雪 | ***** 店舗修理 |
| ***** 田島家養蚕展示館看板設置 | ***** 仮設屋根の設置 |
| ***** 屋根修理トタン屋根葺き替え、一部増築 | ***** 建物増築 |

※ 7月27日（木）夜7時30分、荻町公民館にて『荻町重伝建工作物及び環境物件の追加特定に関する説明会』を開催します。是非ご出席を！！。詳しくは別紙案内をご覧ください。[白川村教育委員会]